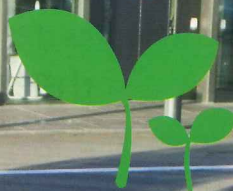


わかば



正面玄関前に植樹されたヒポクラテスの木(プラタナス)です。医学の父「ヒポクラテス」(前460~375)が、その木陰で弟子たちに医学の心を説いたとの伝えから、「ヒポクラテスの木」と呼ばれています。
植樹の様子は8ページ(裏面)で!

- P2・3 小児科医の立場から (小児科医 仁木 敬夫)
- P4 子どもの誤飲を未然に防ごう! 薬の保管と管理
- P5 学生とのコラボメニュー
小児リハビリについて
- P6 産後ケアを導入しました
- P7 マンモグラフィについて
- P8 第7回新庄病院まつりを開催しました
ヒポクラテスの木を植樹しました

山形県立新庄病院

〒996-8585 山形県新庄市金沢720番地の1
0233 (22) 5525

<http://www.ysh.pref.yamagata.jp> (公式サイト)
<https://shinjo-resident.jp/> (リクルートサイト)



YAMAGATA PREFECTURAL
SHINJO HOSPITAL

＼HPとSNSでも情報発信しています／



ホームページ



facebook



LINE



X

小児科医の立場から

山形県立新庄病院 小児科医 仁木 敬夫

ドーハッド (DOHaD : Developmental Origins of Health and Disease) 「健康と病気の発達起源説」について

将来の健康状態や病気のリスクは、胎児期や生後早期の環境によって大きく左右されるという理論をご存じでしょうか？ これは「ドーハッド (DOHaD)」と呼ばれ、1990年代初頭から提唱されてきました。たとえば、胎児期に栄養が不足していた赤ちゃんは、エネルギーを蓄えやすい体質に変化することがあり、出生後に栄養が豊富な環境に置かれると、肥満や糖尿病、高血圧などの生活習慣病のリスクが高まるとされています。

この理論を裏付けるデータが蓄積されてきたこともあり、最近では小児科学会でも頻繁に取り上げられるようになりました。特に、単に早産で小さく生まれた場合よりも、妊娠週数に対して小さく生まれた赤ちゃんの方が影響を受けやすいとされています。小さく生まれる原因となる喫煙、アルコール、栄養不足は、妊娠中はもちろん、妊娠前から避けていただきたい重要なリスク因子です。生まれてくる子どもたちのために、ぜひご配慮をお願いします。

RSウイルスワクチンの定期接種化について

2026年度4月から、妊婦に対するRSウイルスワクチンが定期接種となり、これまで約4万円かかっていた費用が無料化される予定です。このワクチンは、妊娠後期のお母さんに接種することで、RSウイルスに対する抗体を作り、それを胎盤を通じて赤ちゃんに届けるという仕組みです。

乳児期にRSウイルスに感染すると、肺炎などを引き起こしやすく、重症化することがあります。2024年の当院データによると、RSウイルス感染で入院した33人のうち、乳児は23人(70%)で、そのうち1か月以下の乳児が16人と、全体の48%を占めていました。当院では2024年10月から自費での接種を開始していましたが、ワクチンを接種した母親から生まれた乳児において、RSウイルス感染による重症例は一人も確認されていません。

かつては冬に流行していたRSウイルスも、現在ではほぼ一年中感染が見られるようになっています。ワクチンの無料化により、妊婦の接種率が上がり、重症化例が大幅に減少することが期待されます。

山形県における小児肥満の現状

前述のDOHaD理論では、胎児期から肥満のなりやすさが決まるとされていましたが、山形県の小児肥満の実態はどうでしょうか。

令和6年度の学校保健統計調査によると、肥満傾向児(標準体重の20%超)の割合は、山形県では5歳から17歳のすべての年齢で全国平均を上回っていました。特に顕著だったのは以下の通りです：

- ・ 7歳男子：11.41% (全国平均 6.52%) で全国1位
- ・ 12歳男子：16.68% (全国平均12.68%) で全国2位
- ・ 10歳女子：13.24% (全国平均 9.10%) で全国3位
- ・ 16歳女子：11.92% (全国平均 6.77%) で全国1位

一方、令和5年度の政府統計によると、低出生体重児(出生体重2500g未満)の割合は山形県で8.9%と、全国平均の9.6%よりも低い結果でした。これにより、胎児期の環境だけでなく、生後の生活環境 —たとえば、通学や日常生活での徒歩移動の減少、脂肪や炭水化物に偏った食生活、運動の機会や場所の不足など— が、肥満児の増加に影響していると考えられます。

これらの課題に対しては、家庭だけでなく、自治体による食育の推進や、体を動かす場所や機会の提供といった支援が求められます。肥満は、糖尿病、高血圧、心筋梗塞、脳卒中、肝機能障害、睡眠時無呼吸症候群など、さまざまな病気の入り口です。子どもたちの未来のためにも、肥満を軽視せず、予防と対策に取り組んでいきましょう。

5歳児健診の全国普及に向けて

新たな取り組みとして、こども家庭庁は2028年度までに、5歳児健診の全国100%実施を目指しています。最上地域では一部で先行実施されていましたが、2026年度4月からは全域での実施が見込まれています。

5歳児健診の主な目的は、小学校入学前の就学時健診では見逃されがちな発達障害を早期に発見し、適切な支援につなげることです。発達の特性に合った支援がなされないと、授業についていけなかったり、集団生活に適応できず、不登校や非行につながる可能性もあります。

「ちゃんとしなさい」「早くしなさい」といった言葉では伝わらない子どももいます。精神科医・宮口幸治先生の著書『ケーキを切れない非行少年たち』(2019年)では、「ケーキを切れない」という表現が、空間認知や論理的思考の困難さを象徴しています。彼らは「悪い子」なのではなく、適切な支援や理解を受けられなかった子どもたちなのです。もし早期に発見され、支援を受けていたら—と考えさせられます。

以上、小児科医として最近注目されている話題を紹介させていただきました。子どもたちの健やかな成長と幸せを、心から願っています。



子どもの誤飲を未然に防ごう！ 薬の保管と管理



2018年度 厚生労働省「家庭用品に係る健康被害病院モニター報告」では、子どもの誤飲事故の約17%が「医薬品・医薬部外品」であると報告されています。また、子どもによる医薬品の誤飲事故の9割以上が自宅で発生していることが分かっています。

子どもの誤飲事故を防ぐために、改めて薬の保管と管理について確認しておきましょう。

誤飲防止のための薬の保管・管理上の注意点

①薬は子どもの手の届かない見えない所に保管する。

具体的には、

- ・保管する場合は、鍵のかかる場所や取り出しにくい容器の中へしまう。
- ・服用後はそのまま放置せず、すぐに元の安全な場所に片づける。
- ・お菓子の箱など間違えやすい容器に移し替えない。
- ・保護者や祖父母などが薬を飲む姿を見ると、子どもが真似してしまうことがあるため、なるべく薬を飲む姿や薬の保管場所から出し入れする行為を子どもに見せないようにする。
- ・特にリスクの高い医薬品（向精神薬、血糖降下剤、降圧剤など）については、入院を要するような重篤な健康障害を生じるおそれがあるため細心の注意を払い管理する。

②シロップ剤を冷蔵庫に保管する際には、ドア棚などにジュースと一緒に並べて保管しない。

③誤って薬のシートごと飲み込むおそれがあるため、薬のシートは細かく切り分けすぎない。

子どもが薬を誤飲してしまったときの対処法

子どもが薬を誤飲した場合は、子どもの状態や薬の名称、飲んだ量を確認したうえで、直ちに以下のような専門の相談機関に連絡し、必要に応じて医療機関を受診しましょう。

■中毒110番・電話サービス

- 【連絡先】・大阪中毒110番（365日 24時間対応） 電話：072-727-2499
・つくば中毒110番（365日 24時間対応） 電話：029-852-9999

■山形県救急電話相談

- 【連絡先】小児救急電話相談（15歳未満）（365日 18時～翌朝8時）
・県内のプッシュ回線・携帯電話：#8000
・ダイヤル回線・IP電話：023-633-0299

学生コラボ・おいしい減塩メニュー の提供に取り組んでいます！

山形県立病院栄養管理部門では、山形県立米沢栄養大学との連携事業の一環で、学生が考案した減塩でバランスの良いメニューを県立病院の病院食として提供しています。1食あたりの食塩相当量を2g未満に抑えながらも、おいしく召し上がっていただけるように工夫を凝らしたメニューとなっています。

今年度のテーマ

減塩で楽しむ和のさっぱり膳

- ◆ごはん
- ◆魚のおろしポン酢がけ
- ◆切り干し大根とツナのサラダ
- ◆さつま芋の彩りごま和え



減塩メニューのレシピは、「山形おすすめレシピ」として、当院ホームページ（ホームページトップ→部門紹介→栄養管理室）に掲載されています。減塩のポイントも掲載しているので、ぜひご覧になってください♪



リハビリテーション部より

小児リハビリテーションの紹介

当院では、手術後や発症直後のさまざまな疾患に対する急性期リハビリテーションが高い率を占めています。一部外来リハビリテーションも実施しており、こども医療療育センターと連携した小児リハビリテーションも行っております。

小児リハビリテーションとは……

- 目標** 身体機能の障がい、ことばの遅れなどの発達の障がいを軽減し、社会的自立を促すために、医師の指示のもとで行います。
- 対象** こども医療療育センターから紹介を受けた方が対象です。
- 期間** 中学校卒業まで継続して介入します。



お子さん・ご家族とともに考え
より豊かな生活を送れるように継続的に支援しております



産後ケアのご案内



産後ケアって、どんなところ？

出産後のお母さんと赤ちゃんが、安心してゆったり過ごせるようにお手伝いするのが「産後ケア」です。出産という大仕事を終えたあとは、心も体もゆらぎやすい時期。そんな毎日に、助産師がそと寄り添いながらサポートいたします。

どんなサポートが受けられるの？

【お母さんへのケア】・授乳の相談・乳房ケア・体調のお悩み相談 など

【赤ちゃんへのケア】・抱っこや授乳のサポート・沐浴サポート・体重測定 など

【育児の相談】・赤ちゃんの眠りのこと・泣き方のこと・授乳間隔の相談 など

ご利用について

対象：おおむね産後 60 日までのお母さんと赤ちゃん

利用には、お住まいの市町村への申し込みが必要です。申し込み後、希望する日程で利用できるか施設で確認します。利用が可能な場合は、説明書・同意書の記入と、アレルギーのご確認をお願いします。

来棟・退棟ともに14時までとなります。

利用可能日数：4泊5日まで

有料入院セット（パジャマ・タオル・食器・歯磨き用品・ティッシュ・ボディソープ・リンスインシャンプーなど）もご利用いただけます。

産後ケアを利用すると…

- ・気持ちがふっと軽くなる
- ・育児に少しずつ自信が持てるようになる
- ・困った時に相談できる安心が得られる



産後ケアは

産後ケアは、市町村と施設が力を合わせて行う取り組みです。

お母さんと赤ちゃんが、安心して子育てを始められるように——。そんな思いを大切に、そと寄り添う時間を提供しています。

出産後のひとときが、少しでも心地よいものになりますように。

新庄病院 マンモグラフィ検査のご案内

「症状がないから大丈夫」と思っていませんか？

乳がんは、早期に発見できれば治療の選択肢が広がる病気です。今回は乳がん検査に有効なマンモグラフィを紹介します。

マンモグラフィ検査とは

マンモグラフィは、乳房専用のX線撮影装置を用いた検査です。乳房を圧迫して薄く広げることで、しこりや小さな石灰化など、触ってもわからない変化を見つけることができます。とくに早期の乳がん発見に有効とされ、定期的な受診が大切です。

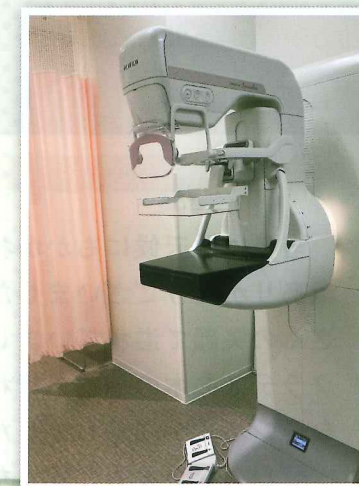
検査について知っておきたいこと

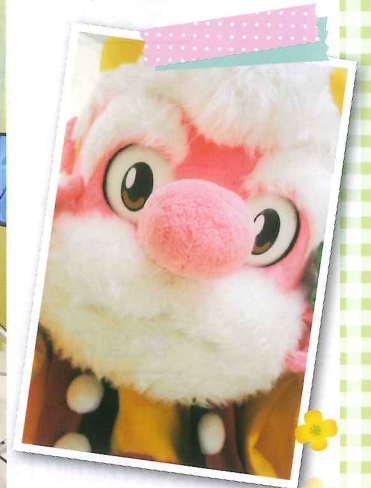
- ・撮影時に乳房を圧迫するため、多少の痛みを感じることがあります。
- ・月経前は乳房が張りやすいため、可能であれば月経終了後1週間以内の受診がおすすめです。
- ・制汗剤やパウダーは画像に影響する場合がありますので、検査当日は使用をお控えください。
- ・妊娠中、またはその可能性がある方は事前にお申し出ください。

当院での体制

新庄病院の乳がん診療は外科外来が窓口です。マンモグラフィ検査は、女性の診療放射線技師が対応いたしますので、安心して受診していただけます。また、人間ドックの検査項目としてもマンモグラフィを実施しております。

「気になっていたけれど、なかなか受けられなかった」
そんな方こそ、この機会にぜひご相談ください。
地域のみなさまの健康を、私たちは大切に守っていきます。





第7回新庄病院健康まつり

令和7年10月26日(日)



当日は悪天候にもかかわらずたくさんのご来場ありがとうございました！会場は今年もたくさん笑顔で溢れていました。閉会式ではヒポクラテスの木の植樹も行われ、新庄病院の新たなシンボルが根差しました。
ぜひみなさまもご覧ください。

